

成年
コミック

PARENTAL
ADVISORY
EXPLICIT CONTENT



BUZZ KICK

Buzz Kick



こんちわ～、深雪だお！
みなさん、しばらく振りです～。
去年の冬コミに続いて、再びサモンナイト2本ですっ。
中身は約束通りに「トリス×ハサハ」
オンリーとなっております。
ゲームをプレイした人で、ハサハのエンディングを
見た人は判ると思うんですが。
その過程で起こる「告白イベント」でワタシの魂は
この娘に奪われてしまいました。（爆）
一回ハマると「わりと冷静じゃいられない」人間なので
こーゆー本まで作ってしまう始末てアリマス。

今回は当初、ゲストを呼んで
「マンガ描いてもらっちゃおーっ！ デヘッ」
とか、姑息な手段に出たろーかと思いましたが。
「個人誌は個人で作ってこそ意味がある」との
同人誌の神様の御告げにより、一切自分だけで
作りましたとさ。

・・・でも、1ページくらい載ってるかもナ。
イヤ、無里かも・・・ よくわかんねーや。（オイ）

それじゃま、とりあえず読んでやって下さいな。
内容については、また後でっつーコトで
ひとつヨロシク～（≧▽≦）／

深雪 2002 MAY







ダ、ダメツ
とまらないよオツ

うあつ！ ゴメン
起こしちゃった!?



お お姉ちゃん
何してるのお?

ゴメン
ゴメン



お姉ちゃん...



さあ、ワタシの
オチンチンを
ペロペロしちゃってエ

すいっ



オチンチン
すごく苦しそう……

うあ アハア♥
ハサハがオチンチン
しゃぶってるう……



…お姉ひゃん
気持ちいい?





ふあッ 出ちやうよオ!!
また精液がビュッビュ
たくさん出ちやううッ

アハッ
でるうッ

いっばい
でるうッ



びーっハサハまん
飲んでえっ 精液
全部飲んでえっ

ゴク
ゴク
ゴク



あまッ



まっまっまっ
入ってくるっ!!



もっと力抜いて
あとちよつとで
全部入るから



まっまっ
まっまっ!!

ハサハのお腹
お姉ちゃんので
いっぱいだよオ

・・・大丈夫？
それじゃ ゆっくり
動かすからね

ドキ
ドキ
ドキ

グ
グ

キ
キ

キ
キ

あっまにまにが
いっばい出てきた

ハサハモ
気持ちいい?



エイッ

お お姉ちゃん
はげしすぎるう



くちゃん
くちゃん

おちゃん
にちゃん

気持ちいいっ
すごいっ!
すごいよオ!!



あっ

い いがまんっ
あ汁がたくさん
出ちやってるん

コンコが寝なの
あっ熱ういよま
あ姉ちやまんっ

止まらないう
気持ちイイ!!

ズキ
ズキ
ズキ

はひい

ひい

すすこいっ!!
すこいよお
ハサハあ

ハサハ中に精液
出したいよあ…
いいよね!? おっ!!

ふあ

私の精液全部
受け止めてえ

グニョ
グニョ

←すいませいのHス 痛め合ってます。

ちやく

ちやくちやく
ちやくちやく

ハサハ

あ

ああ?!
熱っっ!!

入ってくるっ
お姉ちゃんの精液
入ってる!!

まぶまぶ？！

止まらうにやヒイ
精液が止まらう
にやいよオっ！！

はっっ

ガクッ
ガクッ

お・ち・や・ん・っ
う・う・っ

あぐう

?!

ごごめんね…
全部出るまでダメ
みたいなのお

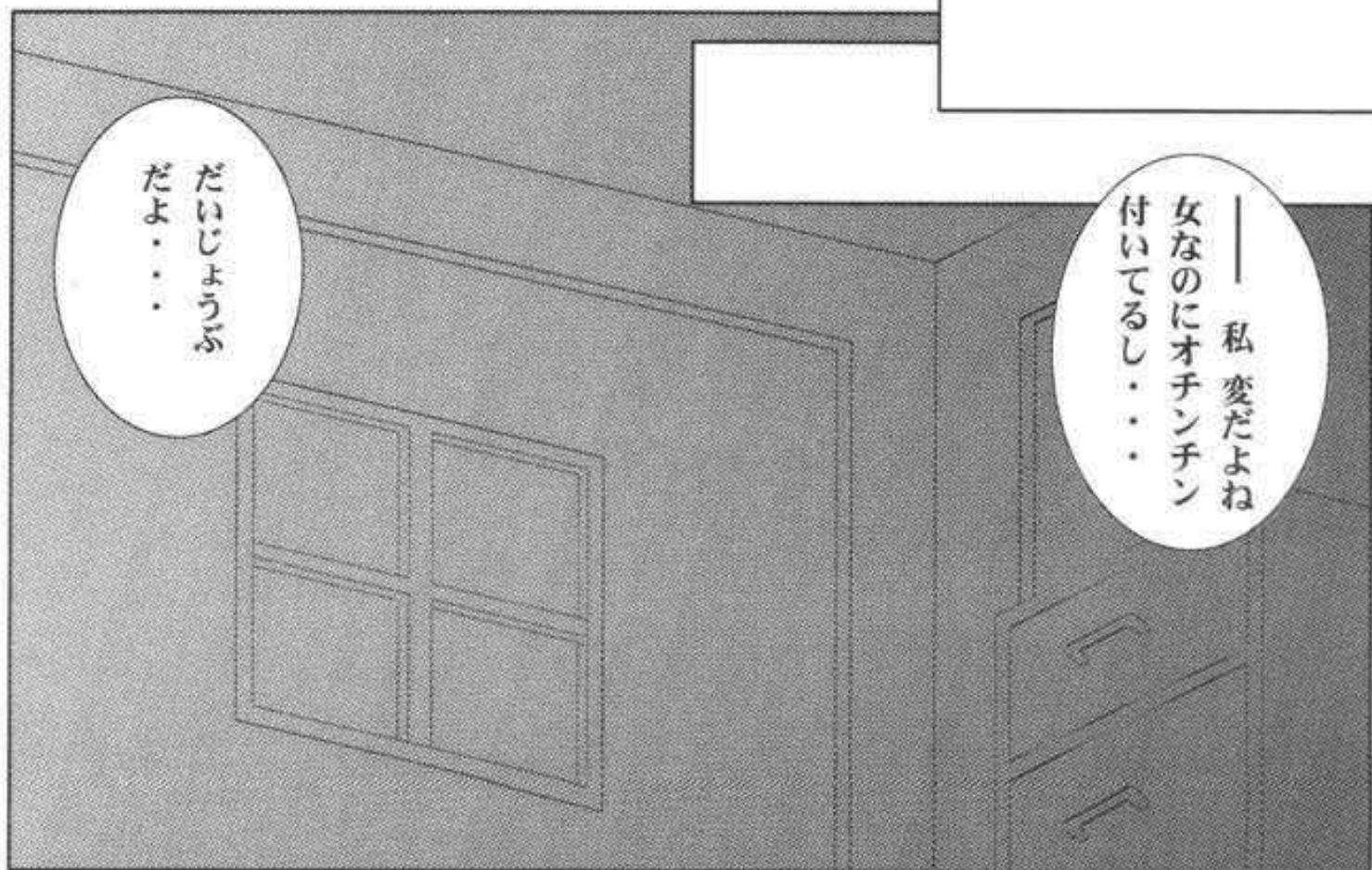
おお姉ちゃんっ！！

ズブッ
ズブッ



うん——
気持ちよすぎて
頭まっ白……

いっばい出たね
気持ちよかった？



だいじょうぶ
だよ……

——私変だよね
女なのにオチンチン
付いてるし……



私またいっばい
いっばいHなこと
しちゃうかもよ？

——あのね
お姉ちゃんがね…



好きにすれば
いいんだよ？

ハサハはそれに
付いていくから

ハサハ……

お姉ちゃん

ずいーとー緒だす



さて、今回の「サモナイ本」はどーだったでしょーか？

結構製作期間は長かったのですが。途中、イベントを2回も落選させられたコトもあって、そのぶん入稿のめきりがガラガラと先送りになっちゃってました。イカンですね・・・

さて、今回は「トリス×ハサハ」なんてすけども。ゲーム中はマグナのほうがLOVE度は高い気がします。ハサハのセリフが、マグナのほうだと良いカン^動に聞こえるンすよ。(笑)

かと言って。同人誌でマグナはあんまり描きたくなかったし。(スマン)トリスの方がはるかに好き、というか「猛烈に大好き☆」なので今回はこのような、「ハートフル・ハードレスマンガ」になりました。

ゲームでも、トリスでプレイしてもハサハとのLOVE度が高いと告白イベントになりますし。さして、問題はないかと。(^^;)

もし、みたびサモナイ2で本を作るとしたら今度はモナティを描きたいですねっ！

それでは、その日がくることを祈りつつ。また次の本でお会いしましょう。



Buzz Kick:Prot Cover

あー、どーも☆ 今回もラブページ作ってみました。
穴埋め的なページとお思いでしょうか。
某ソフトメカニ的に言うならば
コレも仕様のうちなんデスよ〜。(笑)

イヤイヤ、なんと言いますか。
同人の表紙というのはビジョーにムスカスイーですな〜。
特に成年向けだとね。。。。

早いとこ魅力的な絵が揃えるようにガンバリマス。

というコトで、今回の表紙になるまでの変遷を
辿ってみました。

まあー、大したモノでもねーですけど。(…)



最近、パソコンで塗る人が更に
増殖したカンジがしますね。
ワタシもその便乗組なのですが、
それ自体の善し悪しも未だ模索中
です。

Mac上での作業はG4に移行して
パフォーマンスはかなり上がりま
したし、レイアウトやドリミング
などの編集を考えた時に、何かと
パソコンは好都合ですね。

前回の作業の反省点を踏まえ、今
回は最初にハサハとドリスを線画
から別けて作業しました。

Buzz Kick:Prot Cover

PHOTO SHOPに関してでは
暗黙の了解的な「塗りのマニュアル」が
横行してますが。自分自身もそれが足枷
になっている気がします。

とりあえず「右へ習え」とゆうのも
居心地が悪いですし。(´-`)
誰が塗っても同じになるのは
避けたい事象です。
均一化されたら個性なんて無くなるし。

道具なんて使い込むことによって
結果、「自分らしさ」がでるんだから
好き勝手自由にやってみたいと思います。

ま、かなりの道のりですけどね(TOT)



まあ、なんにしてもそうだと思うんですけども。
やらずに後悔するより、やって反省した方が
自分の為になるし。

いろいろと、
あーだこーだとムダに考えるより
自分で感じたことを
素直に信じて行きたいですね。

人生なんてノリですよ。
楽しんで行きまっしょい☆

Buzz Kick:Prot Cover

当初のレイアウト時には、
ハサハはトリスの後ろに位置していたので
「足の方まで見えねーだろーなあ」
と思っていたのですが、
「○○○やっぱ描いとくか」
で正解でした。(笑)

ラフの段階から完成に近い形が出てますね。

トリスで試行錯誤して時間を喰ったので
それ以降は、「描く前に悩まないよーにして
とりあえずラフを描いてから
その絵の善し悪しを判断するようにしてます。



で、表紙を見てのとおり
レイアウト時に左右反転してます。

自分的に本のデザインに関することが
すごくニガテでして、「他の作家さんが
カッコイイ本を作ってる」と
「スゲーなあ〜」と思ってしまいます。

もうちょっと、そのヘンのゴト含め勉強
が足りねえと痛感しております。

やれることは限られるのですが
一歩ずつでも進むしかないんで
やれるゴトから順にやっています。

そんなカンジのワタクシですが、
よろじければ、「これからも
おつきあい下さいませ。

Buzz Kick:Prot Cover

ハイ、このページは本文の没ラフです。
このマジカのために、2~3本分くらい
ラフを描いたのでは？
。。。コストパフォーマンス悪すぎ。

こんなワタシでも、そろそろアシスタント
さん導入を考えてたりします。
商業誌への展開を考えると、1人では
キツイんで。。。とゆーか。
もー、わりとキツめなんで。

さて、今回はトリスをワタナリさんに
してしまいましたが、本文中には
そのコトについては言及してないんで
補足しておきますか。

えーと。
二応、設定としては。
調律者としての膨大な魔力が溜まり過ぎると
(何故か)チンヨが生えて、魔力(精液)を
(自分で)強制的に排出してしまう。。。。

というコトがネームノートの端っこに
書かれていますか。
。。。記憶がないんで、たぶん書いたのは
ワタシではアリマセシ。いや、マジで。



トリス、いい表情してます。(^-^):
ホジドはもつと色々な
プレイを描きたかったんですけど
あんまりムチャするとお話が
メタメタになっちゃうんで
今回は大人じめにじときました。

当初は、トリスがハサハの耳に
射精しちゃって大変なコトに。。。
とか。
いろんなヘンタイプレイ(笑)を
考えたんですけどねい。

ま、それらは後々に別な形で
お見せしまじよう。

ちゅニコトで、今後も
エロエロパワニ炸裂で
ガツンとガンバりますんで
みなさん応援ヨロシコ!!

Buzz Kick

2002/06/16 初版発行

著者
深雪

(C) MIYUKI, LTD. 2002 all rights reserved.

ホームページ
スガキル



又次子儿

PRODUCED by 深雪



B U Z Z K I C K